

タカラスタンダード株式会社

2024年3月期 第1四半期

決算説明資料

2023年8月1日

証券コード
7981

水まわりって、大切だから

Takara standard

1. 2024年3月期 第1四半期 決算概要 P. 2 ~ 10

2. トピックス P. 12 ~ 13

売上高は新築・リフォームともに引き続き好調で5.3%増、第1四半期の過去最高を更新
 営業利益は16.8%減となるが、第2四半期以降は価格改定効果が本格的に寄与すること
 から収益の改善を見込む

【売上高】 **572億円** 前期比 +5.3%

大都市圏を中心に順調に売上を拡大。
 2022年8月発売の中高級シリーズのシステムバス「グランスパ」が大きく伸びに寄与。

【営業利益】 **26億円** 前期比 △16.8%

【四半期純利益】 **19億円** 前期比 △15.9%

資材・エネルギー価格高騰の影響により、営業利益は △16.8%、四半期純利益は △15.9%となったが、
 2023年度実施の価格改定効果が第2四半期以降に本格的に寄与することにより収益の改善を見込む。

商品価格の改定内容

2023年4月受注分より	改定率
システムキッチン 各シリーズ	7~14%程度
洗面化粧台 各シリーズ	7~16%程度

2023年8月受注分より	改定率
システムバス 各シリーズ	14%程度

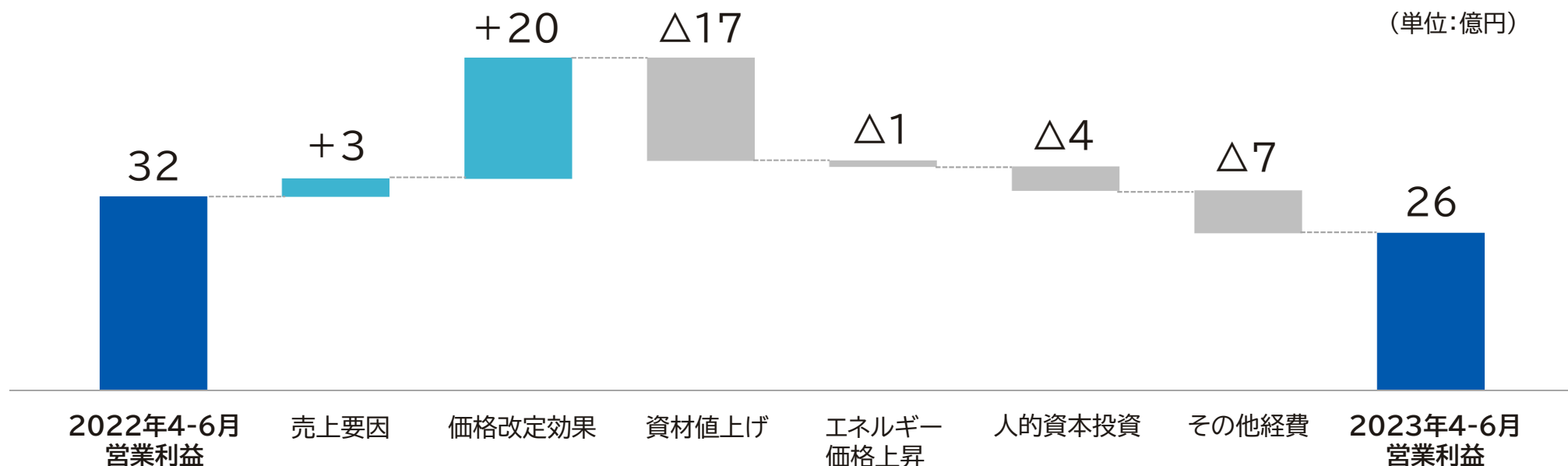
(単位:億円)

	2022年4-6月		2023年4-6月				2023年4-9月 業績予想	
	金額	売上比	金額	売上比	増減	増減率	金額	進捗率
売上高	543	100.0%	572	100.0%	+28	+5.3%	1,137	50.3%
売上総利益	189	34.9%	190	33.3%	+1	+0.7%	—	—
販売費及び 一般管理費	157	28.9%	164	28.7%	+6	+4.3%	—	—
営業利益	32	5.9%	26	4.7%	△5	△16.8%	66	40.7%
経常利益	34	6.4%	28	5.0%	△6	△17.8%	68	42.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	22	4.2%	19	3.4%	△3	△15.9%	45	42.8%

営業利益の増減要因

Takara standard

(単位:億円)



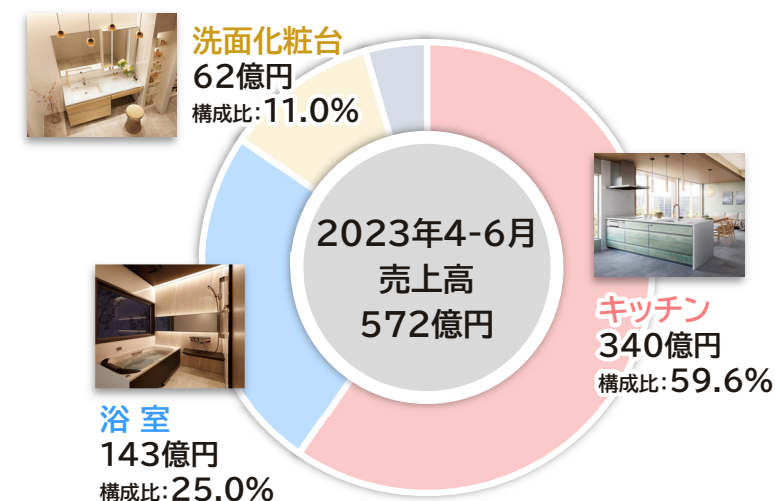
売上要因	大都市圏を中心にリフォーム向け、新築向け共に売上を伸ばし、リフォーム向けでは2022年8月発売の中高級システムバス「グランスパ」の売上が好調に推移した。
価格改定効果	2022年度および2023年4月に実施した価格改定により利益が増加した。2023年実施の価格改定は、第2四半期以降本格的に利益増加に寄与する想定である。
資材値上げ	主要な資材である鋼板、ステンレス、樹脂原料などの市況の上昇が続いており、コストアップとなった。
エネルギー価格上昇	製造工程や事業所で使用するガス、電力の価格上昇によりコストアップとなった。
人的資本投資	成長事業への人財投資、新人事制度の推進、ベースアップ含めた処遇の改善、全社DX教育の強化など持続的な成長に資する人的資本への投資を積極的に実行した。
その他経費	売上の増加に伴う物流費や、生産設備増強に伴う減価償却費を中心に増加した。

製品部門別の売上高

主要3部門とも順調に売上拡大。浴室部門は2022年8月発売の中高級シリーズ「グランスパ」の拡販や新築マンション向けも出荷台数を伸ばし好調。

(単位:億円)

	2022年4-6月		2023年4-6月			
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
キッチン	326	60.1%	340	59.6%	+14	+4.3%
浴室	129	23.8%	143	25.0%	+14	+10.9%
洗面化粧台	59	11.0%	62	11.0%	+2	+4.5%
その他共計	543	100.0%	572	100.0%	+28	+5.3%



【内数】

パネル関連売上	16	3.0%	17	3.1%	+1	+10.5%
海外事業売上	3	0.6%	3	0.6%	△0	△2.7%

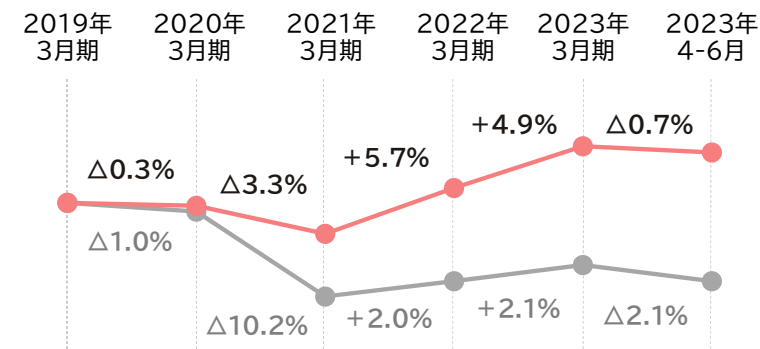
出荷台数増減率(業界比較)

当社の出荷台数の対前期増減率は業界(キッチン・バス工業会)を上回る水準で推移。

キッチン



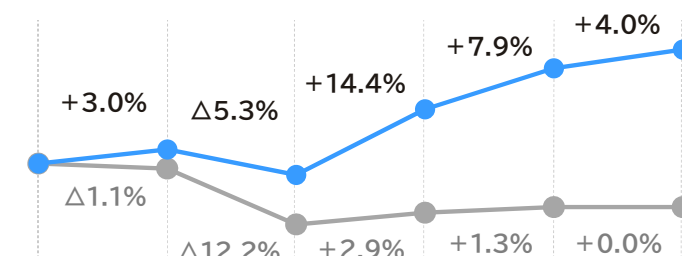
	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2023年 4-6月
当社	△0.3%	△3.3%	+5.7%	+4.9%	△0.7%
キッチン・バス 工業会	△1.0%	△10.2%	+2.0%	+2.1%	△2.1%



浴室



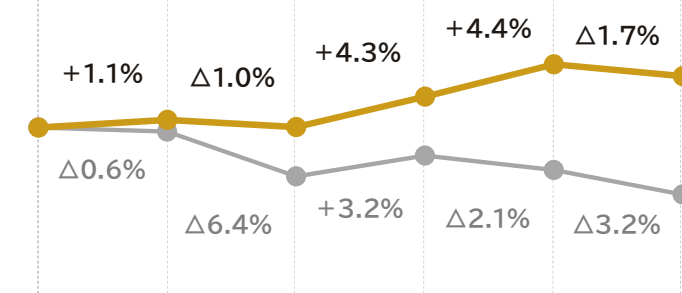
	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2023年 4-6月
当社	+3.0%	△5.3%	+14.4%	+7.9%	+4.0%
キッチン・バス 工業会	△1.1%	△12.2%	+2.9%	+1.3%	+0.0%



洗面化粧台



	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2023年 4-6月
当社	+1.1%	△1.0%	+4.3%	+4.4%	△1.7%
キッチン・バス 工業会	△0.6%	△6.4%	+3.2%	△2.1%	△3.2%

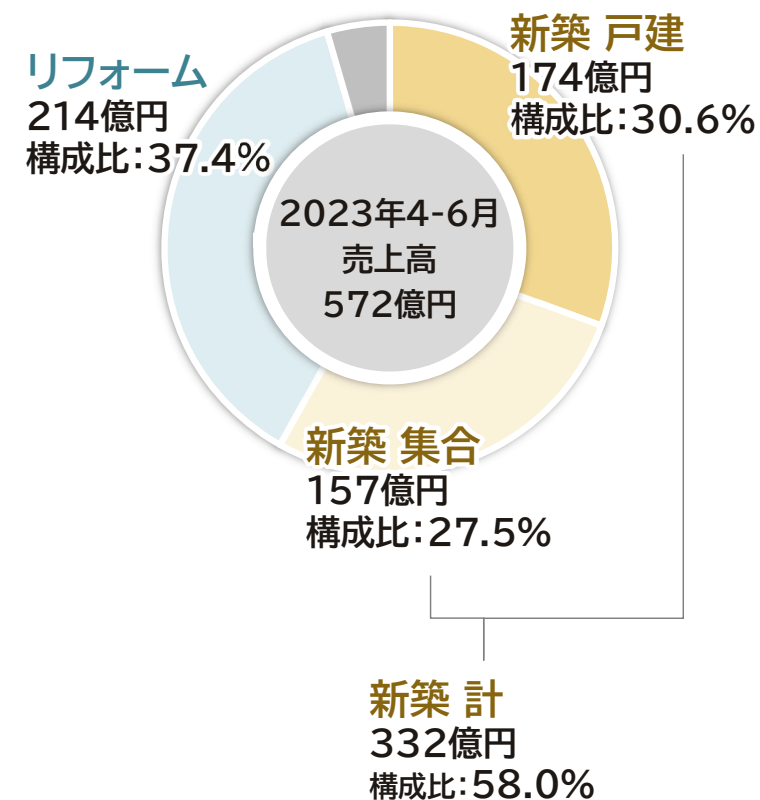


※キッチン・バス工業会の台数増減率は、システムキッチン合計、システムバス合計、洗面化粧台合計の対前期増減率を記載

首都圏・中部圏・近畿圏の3大都市圏を中心に、新築・リフォームともに順調に売上を拡大。
 リフォーム市場では中高級シリーズのシステムバス「グランスパ」の拡販により+8%の伸びとなった。

(単位:億円)

	2022年4-6月		2023年4-6月				
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率	
新築	戸建	173	31.9%	174	30.6%	+1	+1.0%
	集合	147	27.2%	157	27.5%	+9	+6.6%
	計	320	59.0%	332	58.0%	+11	+3.6%
リフォーム		198	36.4%	214	37.4%	+15	+8.0%
その他共 計		543	100.0%	572	100.0%	+28	+5.3%



貸借対照表

2023年6月末の総資産は 2,738億円、前期末比 59億円の減少。

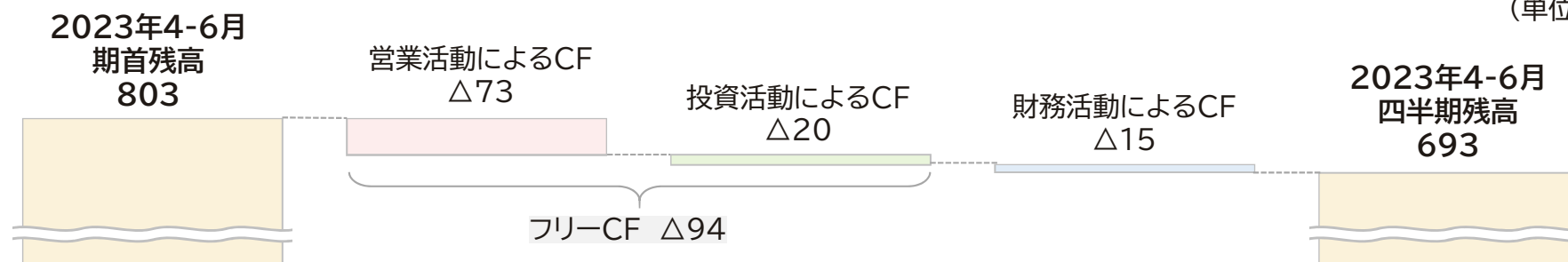
(単位:億円)

		2023年 3月末	2023年 6月末	増減	主な要因
資産	流動資産	1,737	1,673	△64	現金及び預金 △110 売上債権 +11 棚卸資産 +23
	固定資産	1,061	1,065	+4	
資産合計		2,798	2,738	△59	
負債	流動負債	761	690	△70	仕入債務 △88
	固定負債	222	223	+1	
負債合計		983	914	△68	
純資産		1,815	1,824	+9	四半期純利益 +19 その他有価証券評価差額金 +6 剰余金の配当 △18
負債純資産合計		2,798	2,738	△59	

キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物の四半期残高は、一部の購入先への支払いを早期化したことによる仕入債務の減少などで期首に比べ110億円減少し、693億円となった。

(単位:億円)



	2022年 4-6月	2023年 4-6月	主な内容
現金及び現金同等物の期首残高	886	803	
営業活動によるキャッシュ・フロー	14	△73	仕入債務の減少 △86 売上債権・棚卸資産の増加 △35 税金等調整前四半期純利益 27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12	△20	有形固定資産の取得による支出 △21
フリーキャッシュ・フロー	2	△94	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20	△15	配当金の支払 △15
現金及び現金同等物の四半期残高	867	693	

2024年3月期 業績予想 および 株主還元

業績予想

売上高:3.5%増、営業利益:28.9%増 (期初予想から変更なし)

(単位:億円)

	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	増減	
			増減	増減率
売上高	2,274	2,353	+78	+3.5%
営業利益	109	141	+31	+28.9%
営業利益率	4.8%	6.0%	+1.2P	-
経常利益	114	145	+30	+26.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	84	95	+10	+12.9%

株主還元

資本効率の向上及び株主還元のより一層の充実を目的に、
2024年3月期は「増配」と「自己株式取得」を予定

配当
年間 54円 (中間 27円・期末 27円)
年間2円増配 配当性向 40%

自己株式の取得
自己株式38億円(上限)を取得予定

総還元性向80%水準

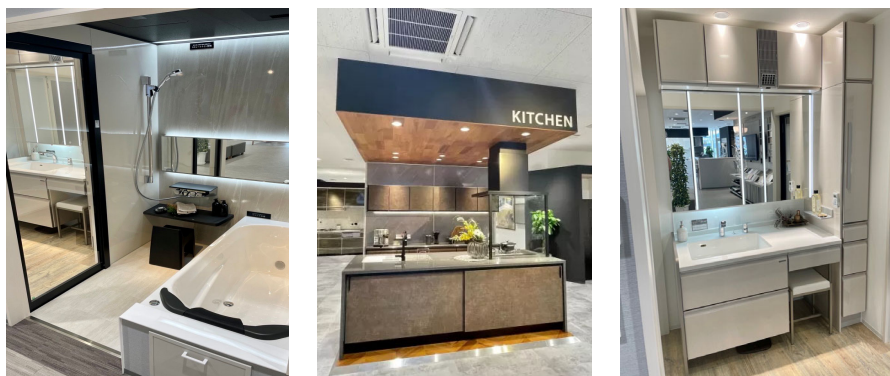
1. 2024年3月期 第1四半期 決算概要 P. 2 ~ 10

2. トピックス P. 12 ~ 13

県内最大級の住宅設備機器ショールーム 「大分ショールーム」移転・リニューアルオープン



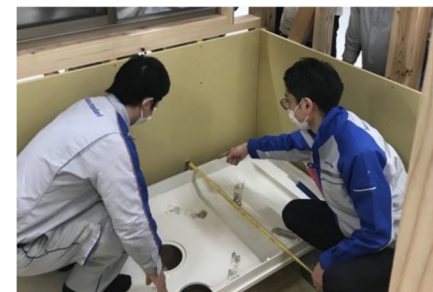
23年4月に移転。広さは従来の約1.3倍となり、県内最大級。需要の高いシステムバスをはじめ、充実した展示をご用意。



施工力増強に向けた当社認定工事店の育成拠点 「大阪トレーニングベース」新設



今後さらに拡大が見込まれるリフォーム需要に対応するため、22年4月に開設した横浜トレーニングベースに続く2拠点目として23年6月より研修開始。



東日本と西日本の2拠点での運用を開始することで、より多くの受講者を受け入れ可能な体制を整備。

アクリル人造大理石浴槽の生産能力を15%増強

システムバスの主力工場である関東工場の設備増強を行い、今後も拡大が見込まれる好調なシステムバス売り上げに対応。



左:アクリル人造大理石浴槽の製造ライン / 右:システムバス「グランSPA」

日本初開催 国際珪瑯会議への協賛と参加

23年5月に京都府で開催された「国際珪瑯会議」に、日本のホーロー技術のリーディングカンパニーとして協賛及び参加。



物流業界の2024年問題に向けた取組み タカラスタンダードの物流政策

働き方改革関連法により、2024年4月1日から「自動車運転業務における時間外労働時間の上限規制」が適用されることを受け、製品配送におけるドライバーの労働時間の短縮に取り組む。

当社の取組み

【1】物流センターにおける待機時間短縮

- ・ 自動化設備(自動倉庫・無人フォークリフト)の導入
- ・ 倉庫管理システムの刷新

【2】鉄道、船舶利用へと転換するモーダルシフトの推進

【3】搬入に関する付帯作業の明確化

【4】中継輸送や共同輸送の検討

- ・ 幹線中継輸送サービス「SLOC」[※]の実証実験に参加
- ・ 家具、家電、住設機器業界の共同輸送コミュニティで課題を解決

※「SLOC」

荷物を積載する荷台(コンテナ)部分が脱着できるスワップボディコンテナ車両を活用するとともに、QRコードを使ったコンテナ管理システムを導入することで、複数の荷主と複数の運送業者によって荷物を運ぶ新しい輸送形態



スワップボディコンテナの交換の様子

< IRお問い合わせ先 >

タカラスタンダード株式会社

管理本部 財務部

TEL 06 - 6962 -1502

E-mail ir@takara-standard.co.jp

水まわりって、大切だから

Takara standard

本資料は、2023年8月1日現在の計画に基づく予測が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要因を含んだものであり、実際の業績が当社の計画と異なる結果となる可能性があります。